

# 嘉麻市の取り組み

<b>ことばの教室</b>	ことばが遅い、ことばのやり取りが難しい、発音がはっきりしないなど、言語聴覚士が個別の相談に応じます。(1人45分程度)		
<b>運動の教室</b>	おすわりやハイハイが遅い、手先が不器用、転びやすいなど作業療法士が個別の相談に応じます(1人50分程度)		対象： 【相談・お問い合わせ先】 嘉麻市健康課母子保健係 TEL0948-53-1104
<b>小集団教室</b>	保育所(園)や幼稚園でおともだちとうまくあそべない、集団行動が苦手など、作業療法士や保育士などのスタッフが少人数のおともだちと一緒に、運動や親子あそびを通して集団行動に必要なことを楽しく練習します。	対象： 就学前のお子さん	
<b>臨床心理士による個別相談</b>	気になるお子さんの発達のことなどを相談し、必要に応じて発達検査を行います。		
<b>巡回相談</b>	嘉麻市内の保育所(園)・幼稚園、小学校などに専門相談員を派遣しています。お子さんがおともだち、先生とのコミュニケーションや活動などに困ることなく、楽しく過ごせることを目的としています。専門の相談員、小学校の先生、保育士、幼稚園教諭、保健師などが連携してお子さんの様子を確認し、必要な支援を考えたお子さんの伸びる力を助けます。	対象： 市内の保育所(園)・幼稚園、小学校に在園、在園、在園のお子さん	対象： 【相談・お問い合わせ先】 嘉麻市健康課母子保健係 TEL0948-53-1104 嘉麻市こども育成課 TEL0948-53-1115 嘉麻市教育委員会学校教育課 TEL0948-57-3107
<b>就学相談</b>	教育センターにおいて、就学に関する不安や悩みなどの相談を随時行っています。	対象： 就学前(年長)のお子さん	対象： 【相談・お問い合わせ先】 嘉麻市教育委員会教育センター TEL0948-52-2852
<b>こどもクリニック</b>	お子さんの発達に不安のあるご家族を対象に、コーディネーション理論の観点から徳島大学名誉教授の荒木秀夫先生が個別相談に応じます。ことばや運動などのお悩み・相談に対応します。	対象： 市内在住、在園、在園のお子さん	対象： 【相談・お問い合わせ先】 嘉麻市教育委員会スポーツ推進課 TEL0948-57-4850

以上のように嘉麻市では様々な取り組みをしていますので、「参加してみたい」、「話を聞いてみたい」、「相談したい」などありましたら、お気軽にご連絡下さい。お子さんにあつた支援と一緒に考えていきます。

**嘉麻市発達支援連携協議会**

嘉麻市では、個別の支援を必要とするお子さんの早期発見、早期対応を行うために、関係機関連携のもと、「嘉麻市発達支援連携協議会」を設置しています。

発達支援に関する課題を検討し、適切な支援を継続して行える体制づくりを目指します。

# みんなちがって みんないい!!

はたつしょうがい し  
～発達障害を知ろう～



## はたつしょうがい 発達障害とは・・・

脳機能の発達が関係する生まれつきの障がいで、対人関係や行動のコントロール、学業などに支障が生じる状態のことをいいます。

発達障害は病気ではありませんが、保育所(園)・幼稚園や小学校に通い始めると、さまざまな問題に直面することがあります。

発達障害のあるお子さんが、健やかに成長するためには、発達障害を早期に発見して、適切な療育を行ったり、周囲の環境を整えたりすることが重要です。

かましはたつしえんれんけいきょうぎかい  
**嘉麻市発達支援連携協議会**

# お子さんのこんな特性気になりませんか？

## おうちの中で

- あやしても笑ったり、視線を合わせたりしない。
- ほんの少しの間も、じっとしてられない。
- ことばがなかなか増えない。
- 「危ない」とか「だめ」が理解できず、注意したらかんしゃくを起こす。
- 髪を洗うことや歯磨きを極端に嫌がる。
- バイクや飛行機、掃除機などの大きな音が苦手。
- 決まったものしか食べない。(偏食が激しい。)

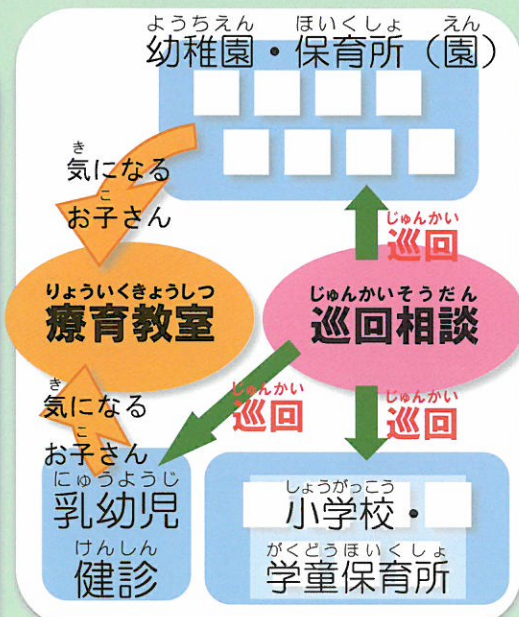
## あそびの中で

- 手をつなぐことや抱っこを嫌がる。
- ごっこあそびをしない。
- 同じあそびを繰り返す。
- ミニカーや積み木を1列にならべたり、扇風機やタイヤなど、回転するものをじっと見たりするなどを繰り返す、なかなかやめられない。



## 集団の中で

- おともだちと楽しんであそばず、いつもひとりである。
- みんなと一緒に行動できず、ひとりで走り回っている。
- おうちのトイレではできるのに、園などのトイレはいやがってできない。
- おともだちや園の先生と会話が成り立たない。一方的に話す。
- 席にじっと座ってられず、立ったり、いすをガタガタゆらしたりするなど落ち着きがない。
- 新しい場所や新しいおともだちなど、初めてのことが苦手で、部屋に入りたがらなかったり、登園を嫌がりする。
- 毎日同じスケジュールでも覚えられず、どう動いていいかわからないことがある。



幼稚園・保育所(園)等の巡回相談を通じ、お子さんの気になる特性等について、療育教室へつなぐための相談ができます。

※上記の特性と同じ特性があったとしても、必ずしも発達障害があるというわけではありませんが、その特性のためにお子さん自身や周囲(保護者、園など)に困っていることや悩みがあるようでしたら、対応を工夫してみることも相談機関に相談されることをお勧めします。

# どんな接し方をしたらいいの？

## 本人の特性や気持ちを理解する



同じ失敗を繰り返してしまう場合や、どうしても気になる行動がなおらない場合は、しるだけでなく、なぜ失敗してしまうのかを考えてみましょう。

「〇〇したかったんだね。」「〇〇の音が怖かったんだね。」など、共感することばがけや、困った行動があっても「わざと」「ふざけている」と思わず、そのお子さんなりの理由が何かあることに、目を向けてあげましょう。

## 今できていることをほめ自信をつける



悪い行動ではなく、良い行動に注目し、できたときにはすぐにほめるようにしましょう。

## ルールや予定をわかりやすくイラストなどで示す



ことばだけでなく、スケジュール表や絵カードなどを用いて、目で見てわかるようにすると伝わりやすくなります。

## 落ち着ける場を用意する



不慣れた環境でストレスを感じるなどにより、パニックを起こすことがあります。無理に押さえつけたり、大声でしゃべったりせず、別室やカーテンで仕切ったリラックススペースを設けるなど、いったん休ませて落ち着くのを待ってみましょう。

## むやみにしからずできるように工夫する



どのようにすればできるのか、工夫しながら接していきましょう。できなかったことや、わからなかったことを頭ごなしにしかってしまうと、劣等感を持たせるだけになります。



※困っていることに気づいてあげることで、「安心」「自信」「意欲」「自己肯定感」「家族や他人への信頼感」などが生まれます。